

Nishi-Nippon Financial Holdings

DISCLOSURE

2018年度 中間ディスクロージャー誌
(2018年4月1日～2018年9月30日)



西日本FH

西日本フィナンシャルホールディングス



西日本シティ銀行



長崎銀行

Contents

ごあいさつ	2
西日本フィナンシャルホールディングスについて	3
2019年3月期第2四半期業績ハイライト	5
中期経営計画「飛翔2020～知恵をしぼろう～」	9
中小企業の経営改善及び地域活性化のための取組み	
ベストミックスのチャネルの実現	10
企業まるごとサポートの進化	12
人生まるごとサポートの進化	19
地域まるごとサポートの展開	21
ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組み	23
トピックス	27
安心に向けた取組み	29
業務運営方針	
コーポレート・ガバナンス	30
コンプライアンス（法令等遵守）への取組み	33
子会社が契約している指定紛争解決機関	34
リスク管理への取組み	36
会社概要・主要な業務内容・店舗のご案内	
西日本シティ銀行	40
長崎銀行	49
資料編	
西日本フィナンシャルホールディングス	51
西日本シティ銀行	87
長崎銀行	130

●本資料は銀行法第21条及び第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー誌です。
●計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しています。



西日本フィナンシャルホールディングス 取締役社長（代表取締役）
（西日本シティ銀行 取締役頭取（代表取締役））

谷川 浩道

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「さらなる飛躍に向けた基盤拡大に取り組み、お客さまに選ばれる地域金融グループを目指す『グループ総合金融力の進化』ステージ」をコンセプトとする中期経営計画「飛翔2020 ～知恵をしぼろう～」の下、さまざまな取組みを進めています。

2018年度上期のわが国経済は、雇用情勢の改善に伴う個人消費の持ち直しや、企業収益の堅調な推移を受けた設備投資の増加などを背景に、緩やかな回復局面が続きました。

当社グループの地元・九州においても、2018年7月の西日本豪雨による農業・林業面などへの影響が一部に見られたものの、個人消費の緩やかな拡大、旺盛な海外需要を背景とした生産・輸出の高まりなどにより、総じて堅調に推移しました。

一方、当社グループを取り巻く経営環境は、超低金利環境の継続、ICTの急速な進展、銀行法等改正に伴う規制緩和などにより、大きく変化し続けています。そうした中、私どもは、お客さまのニーズの変化に適切に対応すべく、グループの総合金融力の強化のため、信託業及び人材紹介業への参入を検討しています。

これからも、お客さま、地域の皆さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループを目指してまいりますので、皆さまにはどうか、一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2019年1月